

養成する人材像

ディプロマ・ポリシー (DP)

1. 豊かな人間性と品性を備え、医療人として必要な知識と倫理観を持ち、常にケアの受け手の生命と権利を尊重できる看護実践者を養成する。

2. 論理的思考と基礎的・専門的能力を身に付け、自らの看護の質向上に継続的に努め、適切な問題解決ができる人材を養成する。

3. 自主的かつ周囲と協働してチーム医療を実践し、人々の健康の保持・増進、疾病予防と回復、地域医療に貢献できる人材を養成する。

1. 対象者の健康の維持及び変化に対応するために必要な看護の知識と技術を修得している。

2. 幅広い教養を身に付け、保健・医療・福祉の場において患者、家族、関係する人々の多様な価値観を尊重し、適切な看護が実践できる。

3. 医療人として必要な論理的思考、専門知識、技能を用い、科学的根拠に基づいた問題解決を図ることができる。

4. 対象者をとりまく多職種と看護職との関係、役割、連携、協働の必要性及び自らの役割と責任を理解している。

4年次

3年次

2年次

1年次

